

分野：自然への愛着

(ハンノキ移植と初春の自然観察)

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象

つばさ南小学校 3年(23人)

所要時間



1・5時間

場所

三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和4年3月23日

概要

- ・ハンノキプロジェクトで種から育てたハンノキを三つ又沼ビオトープに移植する、本来なら休眠期の葉が出る前に移植するが、コロナ禍で遅れました。
- ・初春の自然観察、希少種の芽吹きを観察、ノウルシ・ハナムラ・エキサイゼリ
- ・ノコギリの使いかたを学習したので、保全管理活動で体験する(学校側の要望)

プログラムの
ねらい

- ・学校の近くに素晴らしい自然が残っている場所を実感できたら素晴らしいです。
- ・埼玉県のアサギ、ミドリシジミの食草となるハンノキを移植し大きくなった木の周りを乱舞するミドリシジミを見に来ていただきたい。
- ・保全管理の一助でハチクを切る体験活動を実践する。

プログラムの内容

1 三つ又沼ビオトープの解説(10分)

- ・オリエンテーションとビオトープのお話

2 ハンノキ移植(20分)

- ・移植する場所の草の片付け
- ・移植位置の穴掘り、移植、埋め戻し

3 初春の希少種他の自然観察(20分)

- ・木道よりノウルシの芽吹きを観察
- ・野焼きした場所に移動し、野焼きの説明を行う
エキサイゼリ・ハナムグラの観察

4 ノコギリを使った体験学習(30分)

- ・ノコギリの使いかた、竹の切り方を説明
- ・グループ分けし、一人1本切る

5 まとめ・質疑応答(10分)



受講者の反応

- ・川島町にも希少種があり、自然が残っているのが印象的でしたの声が多かった、新緑の時期や夏秋にも観察に来たいです、成虫越冬していたツチイナゴがかわいかったです。
- ・学校で自分たちが種から育てたハンノキを植えた喜び、大きくなるまで家族で時々観察できることが楽しみです、育てたハンノキの周りを飛ぶミドリシジミを早く見たいです。
- ・ノコギリを使った保全管理の体験学習、最初は怖かったが楽しく教えて頂きありがとうございましたの声が多かったです・・・怪我無く終わりました。

環境学習の様子（写真）



学校で育てたハンノキ移植作業



希少種ノウルシの芽吹き観察